

広報 あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 2004
印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行

| | | | |
|-----|--------------|----|-----|
| 人口 | 9,644人 (増14) | | |
| 男 | 4,597人 (増6) | | |
| 女 | 5,047人 (増8) | | |
| 世帯数 | 3,153世帯 (増7) | | |
| 出生 | 13人 | 転入 | 34人 |
| 死亡 | 10人 | 転出 | 23人 |

(昭和57年1月末日現在)

地域で学ぶ子どもたち



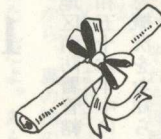
【市場保育所の卒園記念作品展】

卒業(卒園)を前に多彩な行事

赤池町社会福祉法人赤池福祉会 四保育所(上野、市場、赤池、中尾)では、二月十九・二十日の両日、「卒園記念作品展」が行われました。

各保育所の子どもたちは、それぞれの思いを胸に、大人では見過してしまふような素材で、つくってはこわし、こわしてはつくり。個性あふれた、手づくりの人形や絵、焼きものなどが多く見られ、中には、夏祭りに子どもたちが地域で参加した山笠の大きな模型の作品などもあり、子どもの創造の世界は無限に広がっています。

また、三月六・七日の二日間は、創造保育発表会として、四保



育所合同で、五歳児全員と四歳児の一部による幼児劇発表会や子どもの作品展が午前九時半から町民会館で開かれます。

これは島崎幼児劇研究会が主催し、赤池福祉会が後援するものです。

このほか小学校二校でも、卒業前に何か思い出に残る催しをと在校生が六年生を送る「お別れ集会」が企画されています。

57年

3月

No.230



【赤池保育所の卒園記念作品展】

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------|------------------------------|--------|---------|--------|--------|----------------------------|-----------------------|-------------------------|----------|-------------------------|----------------------------|-----------------|-----------------------|-------|---------|------------|--|
| 27日(土) | 25日(木) | 24日(水) | 23日(火) | 22日(月) | 21日(日) | 19日(金) | 17日(水) | 15日(月) | 13日(土) | 11日(木) | 8日(月) | 7日(日) | 6日(土) | 3日(水) | 1日(月) | 和名 弥生(やよい) | |
| 電気記念日 心配ごと相談(10:00 センター) | 四保育所合同卒園式 (9:30 中尾研 所) | 彼岸明け | 世界気象記念日 | 振替休日 | 春分の日 | 三種混合(13:30 15:00 町民 会館) | 心配ごと相談(10:00 センター) | 町県民税申告締切り エンゼルクイズ締切り | 赤池中学校卒業式 | 園児入所説明会(13:30 中尾研 所) | 胃ガン検診(8:30 10:30 中尾研 所) | 国際婦人デー 消防記念日 | 心配ごと相談(10:00 センター) | 啓蟄 | ひな祭 耳の日 | 全国緑化運動 | 風も雨も日ましにあたたかく、 草木が弥ましに生い茂げる月とい う意。 |

三月の
こよみと行事

議会だより

二月臨時町議会で
黒橋掛け替え
工事を承認

昭和五十七年第一回二月臨時町議会は、二月二日に一日の会期で行われ、岩屋口朝日町線跨線橋(黒橋)架設替工事の工事請負契約の締結議案一件が上程され、議会の承認を得ました。

また、町執行部より一般報告事項二件が報告されました。内容は次のとおりです。

●工事請負契約の締結

○昭和五十六年度地方改善施設整備事業(同和対策)「岩屋口朝日町線跨線橋(黒橋)架設替工事の工事請負契約の金額が三千万円を下らないため議会の承認を得ました。



(左は、二反カ浦)松本線改良工事

した。

なお、一月二十八日に行われた入札の結果、林工業株式会社落札し、六月三十日までの工期で工事が行われます。

黒橋は、通学路となっており利用者の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、短期間に工事を完了する予定でありますので、ご協力をお願いいたします。

●一般報告事項

①田川郡町村公平委員会委員の選任について現在田川郡内町村は共同で公平委員会を設置してありますが、五十六年十二月二十一日任期満了に伴い、新しく糸田町より推薦のあった伊藤一歩氏が、事務局のある川崎町議会で、十二月十七日に選任され、この通知があったので、当町議会で報告されました。

②住宅団地の売却計画経過報告についてこの瀬ヶ谷住宅団地は、産炭地域開発就労事業の国庫補助事業で造成を行ったものであり、この売却については労働省の認可が必要である。従って、早急はこの団地の処分申請を行い、認可を得ることが急務であるが、これ

を民間企業に売る場合は労働省の認可がむづかしく、認可の出来る方法としては、●福岡県住宅供給公社に売る。●赤池町が公募し分譲住宅として売る。この二つの方法が最適であり、今後この方向で取り組んでいく。

火事、
1日当りの損害額
67万3千円!!

昭和56年中田川地区消防概況

田川地区消防署管轄(田川市郡)内の昭和五十六年中に発生した火災、救急概況をお知らせします。

火災概況 (内は赤池町)

昭和五十六年中の火災は、出火件数七十七件(三件)で前年に比べ二件増加しています。その分類では、建物火災が六十四件(三件)で最も多く、前年に比し十件も増加しています。次いで林野火災、車両火災が各六件、その他が一件となっています。また、損害額は二億四千五百七十七万七千円(百七十二万五千円)で、一日当りの損害額は六十七万

田川地区消防組合の火災概況と赤池町

| 区分 | 昭和56年中 | 昭和55年中 | 昭和56年中 赤池町 |
|--------------|-----------|---------|---------------|
| 出火件数 | 77件 | 75 | 3 |
| 焼損面積 | 建物 | 4,838㎡ | 3,646 |
| | 林野 | 103a | 11,176 |
| 焼損棟数 | 75棟 | 65 | 3 |
| 罹災世帯数 | 54世帯 | 56 | 3 |
| 罹災者数 | 161人 | 151 | 9 |
| 死者 | 7人 | 1 | 0 |
| 負傷者 | 9人 | 10 | 0 |
| 損害額 | 245,707千円 | 162,978 | 1,725 |
| 1件当り損害額 | 3,191千円 | 2,173 | |
| 建物火災 1件当り | 焼損面積 | 75.6㎡ | 67.5 |
| | 損害額 | 3,816千円 | 2,750 |
| 1カ月当り火災件数 | 6.42件 | 6.25 | |
| 出動人員(延) | 2,016人 | 1,882 | |

救急概況

昭和五十六年中の救急出動件数は、三千五百四十六件、搬送人員三千五百五人となっています。これは一日平均九、七件、九、六人になり、管内の人口の約四十七人に一件の出動件数となっています。

事故種別に分類すると、一位が急病で出動件数九百七十六件、搬送人員七百二十二人と全体の過半数を占めており、二位は、交通事故で、出動件数五百六十六件、搬送人員六百七十人と全体の十六パーセントを占め、以下、一般負傷、労働災害の順になっています。搬送人員の程度別では、軽症千五百九十四人、中症千五十二人、重症、八百二十人、死亡三十九人の順になっています。

三人が初段合格

二月七日午前十時から、飯塚市近畿女子短期大学体育館で、福岡県剣道連盟主催の昇段審査会が行われました。

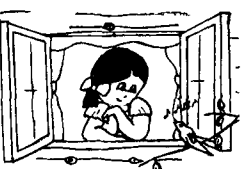
当町からは、厳選された二人が出席、二人とも二回の試合、型、学科と厳しい昇段試験をみごとくパスして、晴れの初段に輝きました。新昇段者は次のとおりです。
●立花ゆかり(高一) 初段
●中野 亜子(中二) 初段
●平野 真弓(中二) 初段
なお、平野さんは、昨年八月に昇段していました。



集中心を養うため
将棋をしませんか?

子供さんの集中心を養うために、ぜひお勧めします。毎週土曜日の午後、練習しています。
▽連絡先 日本将棋連盟個人支部 池田利文(五段)
●赤池2242

みんなの
追憶
広場



池田一歩

寒さに心まで悴かむ思いであったのが、早いもので今日は節分である。目の前がふつと明るくなったような気分になる。

○水浴みに来る笹鳴の庭をもち

野火

気をつけて見ていると、小鳥は意外に奇麗好きで、水溜まりや池の端で、よく水浴みをしている。たまたま訪れた家の池に驚が来て、水浴みをしている。私もこうした閑静な庭をもちたいものよ。

○枯野来て人なつかしむ心ふと

春翁

枯野を踏み分けているうちに、何時か孤独に落ち入ってしまう。そうした折、ふと行き合った見知らぬ人にさえ、懐かしさを感じる。人間はやはり人との交じわりに依って、生かされているなど感じた。○風邪熱の珠数の冷たさ背すじま

はるの女

朝夕のお勤めの折に全く気づかなかった珠数の冷たさが風邪熱の

為ひやつと背筋を走った。人間なんて実に病氣には弱いものだとつくづく感じた。

○帯塚に添ふ心とも寒椿

みつ子

帯塚とは大宰府の虚子堂の奥にあつて虚子の帯を祀つてある塚のこと、椿の好きな虚子の心を汲むごとく、寒椿の花が手向けられしさまにひっそりと咲いている。○空よりも水に濃かりし寒夕焼

野火

○出稽古の風邪の一日の長かりし

はるの女

○どんど焼く風の響ありにけり

みつ子

○老の尚囀む力あり年の豆

春翁

○もう寒さ忘れるほどの樹水かな

操

○機屋冷ゆ北窓塞ぎいてもなほ

一歩



庭の柿の木

三木春翁

●接木して五十余年の庭の柿 私の家の裏庭の柿の木は接木して五十余年を経過している。亡父が旧居の畑より移植したもので、

オアシス運動を
推進しよう

オアシス運動を推進しよう。オアシス運動とは、おはようございます。アは、ありがとうございます。シは、しつれいしました。スは、すみませんでした。

稲刈が済む頃、遠くから渡り鳥が来たり、餌の少なくなった山から、小鳥達が下りて来て、農家や町の庭木に小鳥が来るようになる。俳句の「小鳥来る」という季節は、この頃の季節をいったものである。ある日、前庭に小鳥の音がする。オヤと思っていると、翌日には裏の柿の木に小鳥が来て鳴いている。私は、裏庭の柿の木の下に立つてこの句を得た。

●裏庭に目白の来鳴く雪の朝 ある年の雪の朝、柿の木に小鳥の声を聞き、のぞいて見ると、数羽の目白が、枝に残っている干からびた柿をせっせと食べていた。

つれづれに

老人ホーム天壽荘
松本たかし

○山門の彼岸の掲示筆太に
○昼話時刻の魚板の彼岸かな
○鐘の音のひびく彼岸の日和よき
○彼岸会の刻はやれば庭に佇つ
○歎異抄ラジオ聴聞彼岸日に